日能研	6年							
	算数							
学習内容	11回　立体図形　性質と求積 12回　立体図形　切断・水位変化／比の利用 13回　場合の数 14回　ファイナル①　総合問題演習							
家庭学習ポイント	1月は「立体図形」が2回、「場合の数」が1回、その後は入所直前ということで「ファイナル」と銘打って総合問題演習に入っていきます。立体図形の1回目は「性質と求積」、2回目は「切断・推移変化／比の利用」となります。立体に関しては知識と計算力の最終チェックです。「やり方が分かっているのに答えが合わない」は計算力、処理力の問題です。まずは「1問を解き切るまでの集中」を意識し「必ず正解を出す」という意識で計算してみてください。それだけでも正答率に違いが出てくるはずです。難関校を志望するお子さんは、立方体の切断については切断面が正方形・長方形・台形・平行四辺形・正三角形・二等辺三角形・五角形・正六角形になる各パターンを一通り復習しておくとよいでしょう。学習の軸足を志望校に向けた対策に移していく必要があります。過去問も進めなければなりません。過去問では出題形式・傾向の分析、時間配分や問題の取捨選択が適切だったか、見直し・振り返りを心がけましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	立体の求積で計算ミスを連発していませんか？	チェック					
	解決策	「1問を解き切るまでの集中」を意識して取り組んでみましょう	□					
	チェック2	場合の数での数え出しは正確にできていますか？	チェック					
	解決策	難関校ほど「数え出す」という作業を要求する傾向があります。今一度チェックしておきましょう	□					
	チェック3	1問解くごとに「この問題ではこれを学んだ、できるようになった」がありますか？	チェック					
	解決策	1問解くごとに「この問題のポイントは◯◯だった」と振り返る習慣をつけましょう	□					
	チェック4	過去問の演習は順調に進んでいますか？	チェック					
	解決策	進行状況によっては、塾の講座の欠席を視野に入れるべきケースもあります	□					
	チェック5	算数だけに膨大な時間と労力を取られていませんか？	チェック					
	解決策	算数は大切な科目ですが、他教科との学習バランスも注意しておきましょう	□					

日能研	6年							
	国語							
学習内容	11回　論説文　要点 12回　論説文　論理の展開 13回　論説文　要旨 14回　ファイナル①　総合問題演習							
家庭学習ポイント	11月は論説文が中心です。国際感覚、環境といった固めのテーマを多く扱います。文章構成・要点・論理の展開・要旨など文章全体を捉える力が求められます。「合格完成語句」の暗記も並行して進み、その進捗度合いが過去問着手の条件となる場合もあります。3週にわたって論説文の総復習を終えると、いよいよファイナルに突入します。過去問演習を本格的に進めていく時期です。 受験校によって問題の形式や傾向は大きく異なります。詳しくはお通いの塾の国語担当者にご相談いただければと思いますが、問題の設計思想自体が、普段解いているカリテや公開と異なる入試問題もあります。「（塾のテストも含めて）どの学校の国語を解く際にも意識すべきこと」と「特定の学校の国語を解く際に特に意識すべきこと」を、それぞれ言葉にして整理していけると良いですね。忙しくなってくる時期ですので、時間のやりくりは大変ですが、難関校を受験される場合は他塾の学校別オープンの利用も積極的に検討していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	後期の日曜特訓を含めた一週間のサイクルが順調にまわっていますか？	チェック					
	解決策	特に志望校名を関した日特を受講している場合は、日特に重心をおいて学習しましょう	□					
	チェック2	過去問演習は順調に進んでいますか？	チェック					
	解決策	進行状況によっては、塾の講座の欠席を視野に入れるべきケースもあります	□					
	チェック3	「量をこなしているのに成果が出ない」状況になっていませんか？	チェック					
	解決策	連続するテスト、過去問演習それぞれで「何のために受けているのか」を意識するようにしましょう	□					
	チェック4	1問解くごとに「この問題ではこれを学んだ、できるようになった」がありますか？	チェック					
	解決策	すべての授業、過去問演習において上記を意識して取り組みましょう	□					
	チェック5	語句の学習をコツコツと続けていますか？	チェック					
	解決策	語句の学習は入試当日まで続けると心得ておきましょう	□					

日能研	6年		
	理科		
学習内容	11回　生物と機能　人体 12回　生物と機能　植物 13回　生物と機能　生物のつながり 14回　ファイナル①　総合問題演習		
家庭学習ポイント	「人体」・「植物」・「生物のつながり」と生物分野の総まとめを行い、グラフや表で与えられたデータを読み取って考察する問題にも取り組みます。その後「ファイナル」へと突入していきます。人体・植物などの生物分野では、大問1題で複数の知識を問われることが多くなるため、知識が不安な場合、「メモリーチェック」「中学受験　すらすら解ける魔法ワザ　理科　知識思考問題」「コアプラス」等を併用し、予め基本を振り返りした状態で授業に臨んだほうがよいでしょう。実験考察問題に不安がある場合は、公開や入試問題を使って演習を積んでください。また生物分野といえども、難関校では一問一答的な問がすつ題されることは稀で、思考や計算を伴う問題がほとんどです。学校によっても出題傾向は違いますから、必ず志望校の過去問演習を通して出題傾向を知り、あと自分が何を身につけておけばいいかを把握しましょう。その上で過去問演習で浮かび上がった知識の不足などを、いかに入試本番までに埋められるかが鍵になってきます。		
課題の把握と解決策	チェック1	過去問を解く際に、知識の不足を感じることがありますか？	チェック
	解決策	難関校を受験する場合は「メモリーチェック」だけでなく「魔法ワザ」など併用しましょう	▫
	チェック2	グラフや表などを与えられた問題に対応できていますか？	チェック
	解決策	グラフは縦軸、横軸が何を示しているか意識し、数値の変化に注目してみましょう	▫
	チェック3	食物連鎖において、生物のつながりの中で移動しているものはなにか、理解していますか？	チェック
	解決策	「生産者」である植物が光合成によってつくった栄養分に含まれる炭素が移動しているんですね	▫
	チェック4	過去問の演習は順調に進んでいますか？	チェック
	解決策	進行状況によっては、塾の講座の欠席を視野に入れるべきケースもあります	▫
	チェック5	知識分野の学習はコツコツ続けていますか？	チェック
	解決策	「ルーティン」の学習としての知識学習は入試直前、当日まで続けましょう	▫

日能研	6年		
	社会		
学習内容	11回　日本の歴史　文化・宗教史 12回　日本の政治　日本国憲法と基本的人権 13回　日本の政治　三権分立・予算・地方自治 14回　ファイナル①　総合問題演習		
家庭学習ポイント	11月の前半は歴史分野の学習で、時代をまたいだテーマ史として、と「文化・宗教史」について取り組みます。後半は公民分野の最重要ポイントでもある「日本国憲法と基本的人権」と「三権分立・予算・地方自治」について学んでいきます。塾からのゴーサインがなくても（日能研では「社会の過去問を解き始めてください」という指示が出る時期が遅い傾向があります）、ある程度対応できそうであれば、受験校の過去問にはひととおり触れておくべき時期です。注意が必要なのは、解いて○つけをすることだけが過去問演習の目的ではないということです。受験校によって問題の傾向は大きく変わります。一問一答が中心か、記述が多いのか、地図を読む問題が出るのか、複雑な資料の読み取りが求められる問題はあるのか、時事問題は多いのか、頻出単元はあるのかなどをチェックし、自分がどの単元や問題形式に強くなっていけば良いのかを考えましょう。分析が大変と感じられる場合は、お通いの塾の社会担当者にご相談ください。		
課題の把握と解決策	チェック1	過去問演習を始めていますか？	チェック
	解決策	校舎によっては過去問演習の指示がやや遅いケースがあります。併願校などから始めましょう	▫
	チェック2	公民分野の知識に不安点がありますか？	チェック
	解決策	学習期間が短かった分野だけに不安があるお子さんが多いです。12〜13回の授業で仕上げましょう	▫
	チェック3	一問一答的な知識に不安を残していませんか？	チェック
	解決策	入試には一問一答的な問題は出ないとはいえ、知識がないと応用問題は解けないと考えましょう	▫
	チェック4	問題を演習することが得点力の向上につながっていますか？	チェック
	解決策	常に問題を1問解いたら「この問題のポイントは何だったのか」を考えるようにしましょう	▫
	チェック5	テーマ別の学習を得点力に結び付けられていますか？	チェック
	解決策	志望校の過去問を見て、どのような分野の出題が多いか確認してみましょう	▫